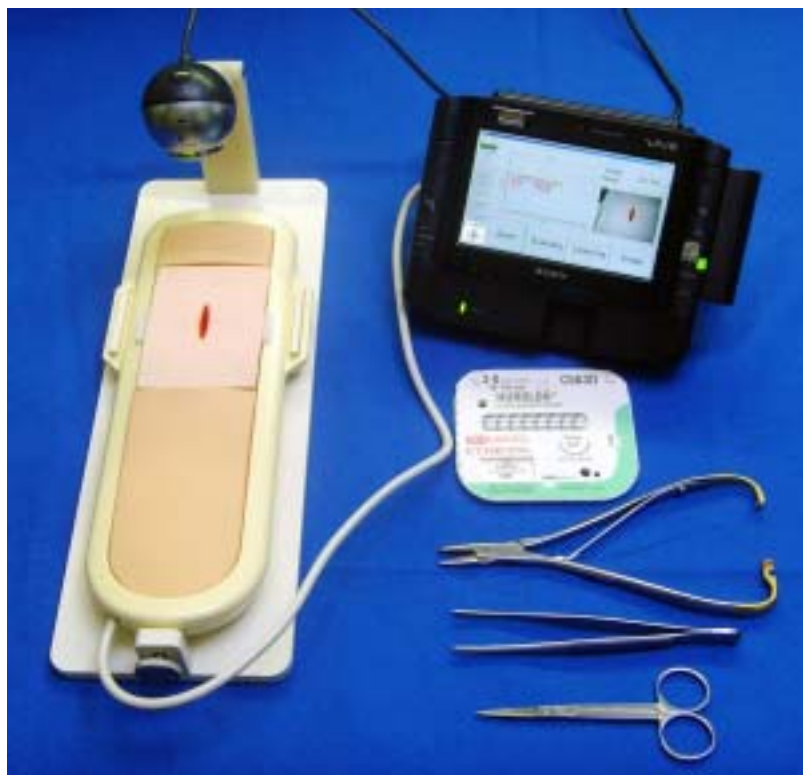


縫合手技システム

早稲田大学
WABOT-HOUSE
研究所

縫合手技システム



縫合手技訓練用皮膚モデルは、外科の基本手技である縫合と結紮(けっさつ)の訓練を行うための医療教育シミュレータである。

この装置は、内蔵されたセンサによって縫合時に表皮に加わる力を計測し、そのデータから手技を評価可能な点において、既存の縫合手技シミュレータと一線を画している。

今後、医学教育の場面にこの装置が導入されることで、これまで評価が難しかった外科手技の定量的評価が可能となり、また、より効率的な教育訓練が可能となると期待される。

担当: 総合機械工学科 高西研究室

